



江ノ島電鉄株式会社
京福電気鉄道株式会社

2025年1月31日
Press Release

江ノ電・嵐電 姉妹提携15周年記念 共同PR事業「あたらしいコトみつげよう」第4回 第4回「春に遇えば即ち栄え華さく ～京都 御室仁和寺、鎌倉 極楽寺」

江ノ島電鉄株式会社（本社：神奈川県藤沢市、社長：黒田聡）と京福電気鉄道株式会社（本社：京都市中京区、社長：大塚憲郎）は、2009年の「江ノ電・嵐電姉妹提携」が2024年に15周年を迎えたことから、東西の古都である鎌倉と京都の観光施設等を1枚のポスター、チラシで紹介し、新しい“こと”を見つけていく共同PR事業「あたらしいコトみつげよう」を実施しています。

本シリーズ第4回として、古都の花のお寺とその最寄り駅の風景を紹介する「春に遇えば即ち栄え華さく～京都 御室仁和寺、鎌倉 極楽寺」が完成、共同PRを実施します。

なお、本事業は一般社団法人日本民営鉄道協会の「地方民鉄関係事業」の一環として実施しています。



京都 仁和寺



春に遇えば即ち栄え華さく



鎌倉 極楽寺

〈特別協力〉
真言宗御室派
総本山 仁和寺

真言律宗
霊鷲山 感應院 極楽寺

（制作）



（販売）



鎌倉市観光協会



日本民営鉄道協会

「あたらしいコトみつげよう」第4回「春に遇えば即ち栄え華さく」ポスターイメージ

【概要】

共同PR「あたらしいコトを見つけよう」では、第1回目は東西古都の舍利殿として「円覚寺舍利殿と鹿王院舍利殿」、第2回目はいにしへの歌人が愛した鎌倉・京都の水辺の情景として「大覚寺大沢池と鎌倉腰越海岸」、第3回は思わず写真を撮りたくなる電車の風景として「鉄のつながりをながめて～ 江ノ電 極楽寺（ごくらくじ）、嵐電 宇多野（うたの）」を取り上げて制作しました。

第4回目はこれから訪れる春を賑わす、古都の花のお寺と最寄り駅を紹介します。

御室仁和寺は888年に創建された真言宗御室派の総本山です。「御室御所」と呼ばれ代々皇室から住職を迎えた門跡寺院で、境内の「御室桜」と呼ばれる背丈の低い遅咲きの桜の林は、4月中旬頃に見頃を迎えます。仁和寺は1994年、ユネスコの世界遺産に登録されました。

極楽寺は1259年に鎌倉幕府二代執権北条義時の子で、京都とのつながりもあった北条重時が開基となり創建された真言律宗の寺院です。毎年、桜が境内を彩る4月7日・8日の2日間には通常非公開のご本尊「釈迦如来」のご開帳、北条重時・忍性の墓などが公開され多くの参詣者で賑わいます。

タイトルにもあるように、栄えのある季節を草木も私たちも心待ちにしておりました。お寺と草木がじっと蓄えて、今春も咲かせた花をご覧になることで、改めて生の美しさを感じてはいかがでしょうか。

【背景】

鎌倉と京都は、政治・経済・文化など、長い歴史の中で連携・交流し、また時に東西政権で激しく争うなど、深いつながりを持つ東西の古都です。近年は急増する観光需要の中、特定のエリア・時間帯への極端な観光集中など、共通するオーバーツーリズムの課題も抱えています。

両社は同じ課題に取り組む地域で観光路線・生活路線双方の顔を持つ事業者として、オーソドックスな「古都の観光」に加え、隠れた名所、新たな視点で沿線を観光体験ができる施設や場所などを訪れる旅行者に提案し、共同でPRを行い、回遊・分散化による観光集中の緩和を促進、住民生活と共存する持続可能な観光の実現を目指します。

【江ノ電・嵐電共同PR事業「あたらしいコトを見つけよう」】

第4回 「春に遇えば即ち栄え華さく ～京都 御室仁和寺、鎌倉 極楽寺」

〈事業主体〉 江ノ島電鉄株式会社 京福電気鉄道株式会社

〈特別協力〉 真言宗御室派 総本山 仁和寺 真言律宗 霊鷲山 感應院 極楽寺

〈後援〉 公益社団法人鎌倉市観光協会 公益社団法人京都市観光協会

〈期間〉 2025年2月～4月末ごろ

〈掲出場所〉 江ノ電・嵐電沿線 駅やサイネージ

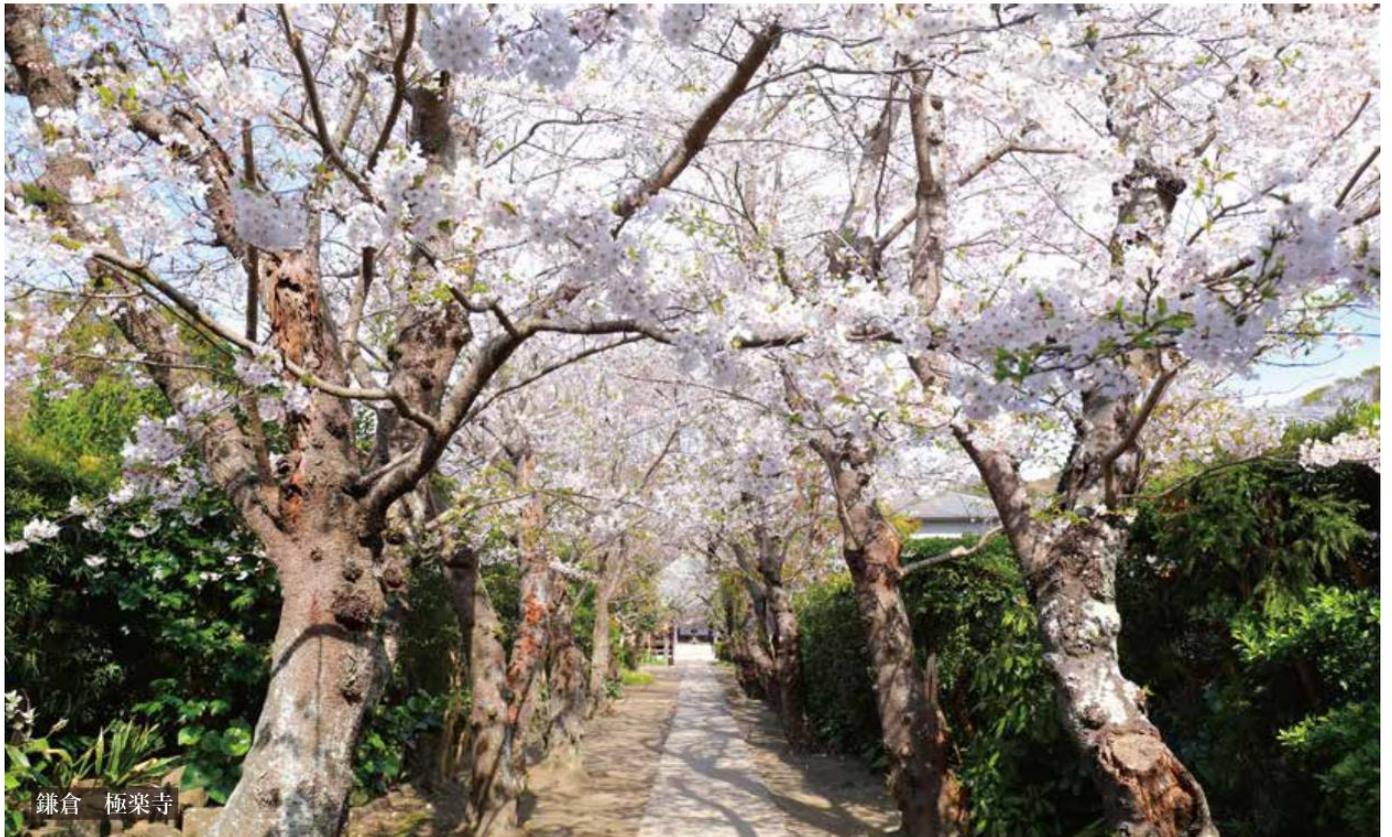
以上



京都 仁和寺



春に遇えば即ち栄え華さく



鎌倉 極楽寺

〈特別協力〉

真言宗御室派
総本山 仁和寺

真言律宗
霊鷲山 感應院 極楽寺

〈制作〉



〈後援〉



東西の古都 花のお寺

東西の古都に今年も美しい春がやってきました。

空海が残した「春に遇えば即ち榮え華さく」とは比喻であり、実際には「物に定められた性質はない」という意味を示します。枯木は春になれば、必ず花を咲かせてくれます。同じように、今回取り上げるお寺様も焼け跡から中興し今の姿を取り戻しました。お寺と草木がじっと蓄えて、今春も咲かせた花をご覧になることで、改めて生の美しさを感じてはいかがでしょうか。

真言宗御室派 総本山 仁和寺

仁和寺は888年に創建された真言宗御室派の総本山です。「御室御所」と呼ばれ代々皇室から住職を迎えた門跡寺院で、境内には五重塔や二王門など江戸時代に建立された建造物が並びます。境内の「御室桜」と呼ばれる背丈の低い遅咲きの桜の林は、4月中旬頃に見頃を迎えます。仁和寺は1994年、ユネスコの「世界遺産」に登録されました。



【アクセス】

嵐電北野線 御室仁和寺駅下車 徒歩約3分

【御室仁和寺駅】

御室仁和寺駅は、1925年の嵐電北野線開業と同時に「御室駅」として誕生し、2007年に現在の駅名となりました。仁和寺二王門の正面に位置し、開業当初より仁和寺を参拝するお客様のための観光駅と位置付けられ、賑わってきました。古風な駅舎の南には名勝の双ヶ岡、駅構内には2020年に仁和寺から寄贈された御室桜があるなど、緑豊かな環境に恵まれた駅となっています。



極楽寺

真言律宗の寺院で鎌倉幕府二代執権北条義時の子、北条重時が開基となり1259年に創建しました。後には、忍性が開山として迎えられ、境内には福祉・医療施設を設けるなど弱者救済に尽力し、いまもなお多くの参拝者が足を運びます。毎年、桜が境内を彩る4月7日・8日の2日間には通常非公開のご本尊「釈迦如来」のご開帳、北条重時・忍性の墓などが公開され多くの参詣者で賑わいます。



【アクセス】

江ノ島電鉄 極楽寺駅下車 徒歩約3分

【極楽寺駅(旧駅舎)】

極楽寺駅は、「関東の駅百選」として鎌倉高校前駅と共に選ばれています。レトロな木造の旧駅舎はテレビドラマや映画などに度々登場し、江ノ電沿線のアイコンのひとつになっております。鎌倉を代表する地形である「谷戸」に立つこの駅は豊かな自然と調和しており、なかでも春先に桜の老木と駅舎が寄り添って咲く様子は私たちの心を和ませてくれます。



江ノ電 × 嵐電 共同 PR 事業「あたらしいコトみつけよう」

鎌倉・京都。東西の「古都」で感覚をときずまし、あたらしい「コト」をたくさん見つけてみませんか。

〈2024年10月14日に姉妹提携15周年を迎えた江ノ電・嵐電は、
鎌倉・京都の魅力の発信と持続可能な観光の実現を目指します〉